社　会

福岡県公立高等学校入学者選抜学力検査 模擬テスト

試験時間：50分　配点：60点満点

受験番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項】

1．問題は大問１から大問５まであります。
2．解答はすべて別の紙に記入してください。
3．記号で答える問題は、ア・イ・ウ・エの中から最も適切なものを一つ選んでください。
4．記述問題は、指定された字数・条件にしたがって答えてください。

大問１　世界地理（12点）

次の資料を読み、あとの問いに答えなさい。

【資料１】世界の４つの都市の気候データ（1月・7月の平均気温と年間降水量）

都市	1月平均気温	7月平均気温	年間降水量	特徴
都市Ａ	26.2℃	27.0℃	2,490mm	年間を通じて高温で降水量が多い
都市Ｂ	9.4℃	22.8℃	640mm	1月の降水量は約90mm、7月の降水量は約10mm
都市Ｃ	4.2℃	18.5℃	750mm	年間を通じて降水があり、四季がある
都市Ｄ	−15.3℃	19.1℃	520mm	冬と夏の気温差が非常に大きい

【資料２】ある地域の貿易に関するデータ

Ｘ国は、原油の輸出額が総輸出額の約80%を占めており、主な輸出先は中国・日本・インド・韓国などのアジアの国々である。近年、原油価格の変動により経済が大きく影響を受けており、産業の多角化が課題となっている。この国は、ペルシア湾に面し、世界有数の産油国として知られている。

【資料３】世界の農業に関する記述

（あ）広大な農地で大型機械を用いて小麦やとうもろこしを大量に生産する農業が行われている地域がある。アメリカ合衆国の中西部やアルゼンチンのパンパがその代表例である。
（い）東南アジアや南アジアでは、高温多湿な気候を利用し、水田で稲作が盛んに行われている。特にタイやベトナムは世界的な米の輸出国である。
（う）地中海沿岸では、夏の乾燥に強いオリーブやぶどうなどの栽培が行われ、冬には小麦が栽培されている。
（え）アフリカや東南アジアの一部では、旧植民地時代に始まったカカオ・コーヒー・天然ゴムなどの商品作物を大規模に栽培する農業が行われている。

問１（3点）　資料１の都市Ａ～Ｄのうち、地中海性気候に該当する都市を記号で答えなさい。また、地中海性気候の特徴を「夏」「冬」という語句を使って、30字以内で簡潔に説明しなさい。

問２（3点）　資料２のＸ国として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　ブラジル
イ　サウジアラビア
ウ　オーストラリア
エ　南アフリカ共和国

問３（3点）　資料３の（え）で説明されている農業の形態を何というか、カタカナで答えなさい。

問４（3点）　資料１の都市Ｄのように、冬と夏の気温差が非常に大きい気候が見られる地域として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　インドネシアのジャカルタ付近
イ　ロシアのシベリア地方
ウ　イギリスのロンドン付近
エ　エジプトのカイロ付近

大問２　日本地理（12点）

次の資料を読み、あとの問いに答えなさい。

【資料４】日本の地域別人口と面積

地方	人口（万人）	面積（km²）	人口密度（人/km²）	主な産業の特色
北海道地方	約522	83,424	約63	大規模畑作・酪農・漁業が盛ん
関東地方	約4,365	32,424	約1,346	工業・商業・サービス業の中心
中部地方	約2,115	66,774	約317	自動車産業・精密機械工業が盛ん
九州地方（沖縄県を除く）	約1,278	42,231	約303	IC関連産業・農業・観光業

（人口は2020年国勢調査による）

【資料５】ある県の農業生産に関する記述

この県は、冬でも温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどの施設を用いた野菜の促成栽培が盛んである。きゅうり・ピーマンなどの生産量が全国上位を占めている。太平洋に面しており、黒潮（日本海流）の影響で温暖な気候が特徴である。

【資料６】日本の工業地帯・工業地域の出荷額割合（概要）

工業地帯Ｐ：機械工業の割合が約70%と非常に高く、自動車関連産業が中心。出荷額は日本最大である。
工業地帯Ｑ：化学工業と鉄鋼業の割合が比較的高く、石油化学コンビナートが多い。大阪湾沿岸に広がる。
工業地域Ｒ：電子部品や半導体関連の工場が近年増加しており、高速道路の整備にともなって内陸部にも工場が分布している。

問１（3点）　資料４から読み取れることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　北海道地方は面積が最も広いが、人口密度は表中で最も低い。
イ　関東地方の人口密度は、北海道地方の約10倍である。
ウ　中部地方は人口密度が九州地方より低い。
エ　九州地方は人口が北海道地方の約３倍である。

問２（3点）　資料５で説明されている県として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　長野県
イ　宮崎県
ウ　青森県
エ　新潟県

問３（3点）　資料６の工業地帯Ｐの名称を答えなさい。

問４（3点）　資料５にある「促成栽培」とはどのような栽培方法か、「出荷時期」という語句を使って30字以内で説明しなさい。

大問３　歴史・古代～近世（12点）

次の資料を読み、あとの問いに答えなさい。

【資料７】日本の古代～中世の出来事（年表）

時代	年	出来事
飛鳥時代	603年	聖徳太子が冠位十二階の制度を定めた
奈良時代	710年	平城京に都が移された
奈良時代	743年	（Ａ）が出された
平安時代	794年	桓武天皇が平安京に都を移した
鎌倉時代	1185年	源頼朝が守護・地頭を設置した
鎌倉時代	1274年	（Ｂ）が起こった
室町時代	1392年	南北朝が合一された
室町時代	1467年	応仁の乱が始まった

【資料８】江戸時代の政策に関する記述

（ａ）三代将軍徳川家光は、日本人の海外渡航と帰国を禁止し、外国との貿易をオランダと中国に限定した。貿易は長崎で行われ、オランダ商館は出島に置かれた。

（ｂ）五代将軍徳川綱吉は、極端な動物愛護令を出し、特に犬を大切にすることを命じた。この法令は庶民の生活を圧迫した。

（ｃ）八代将軍徳川吉宗は、幕府財政の立て直しを図り、新田開発の奨励や倹約令を出した。また、庶民の意見を聞くため目安箱を設置した。

（ｄ）老中の田沼意次は、商人の経済力を利用して幕府の財政を立て直そうとし、株仲間の奨励などを行った。

問１（3点）　資料７の（Ａ）にあてはまる法令の名称を漢字で答えなさい。

問２（3点）　資料７の（Ｂ）にあてはまる出来事として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　承久の乱
イ　文永の役
ウ　壬申の乱
エ　保元の乱

問３（3点）　資料８の（ｂ）で説明されている法令の名称を答えなさい。

問４（3点）　資料８の（ｃ）で説明されている、徳川吉宗が行った政治改革の名称を答えなさい。

大問４　歴史・近現代（12点）

次の資料を読み、あとの問いに答えなさい。

【資料９】近代日本の出来事（年表）

年	出来事
1868年	明治維新が始まり、五箇条の御誓文が出された
1871年	（Ｃ）が行われ、藩が廃止された
1889年	大日本帝国憲法が発布された
1894年	日清戦争が始まった
1904年	日露戦争が始まった
1914年	第一次世界大戦が始まった
1931年	満州事変が起こった
1941年	太平洋戦争が始まった
1945年	ポツダム宣言を受諾し、終戦

【資料10】戦後日本の記述

（ⅰ）1945年以降、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の指導のもと、日本では民主化政策が進められた。財閥解体、農地改革、労働組合の結成奨励などが行われた。

（ⅱ）1950年に朝鮮戦争が勃発すると、アメリカ軍向けの軍需物資の注文が急増し、日本経済は好景気となった。これを特需景気という。

（ⅲ）1951年、日本はサンフランシスコ平和条約に調印し、翌年に主権を回復した。同時にアメリカと日米安全保障条約を結んだ。

（ⅳ）1956年、日本はある国と共同宣言に調印して国交を回復し、同年、国際連合への加盟が実現した。

問１（3点）　資料９の（Ｃ）にあてはまる政策の名称を漢字４字で答えなさい。

問２（3点）　資料９に関連して、1889年に発布された大日本帝国憲法について述べた文として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　主権は国民にあるとされ、天皇は象徴とされた。

イ　天皇が国の元首であり、統治権を総攬（そうらん）するとされた。

ウ　三権分立は採用されず、天皇が立法・行政・司法のすべてを直接行った。

エ　国民の権利は「基本的人権」として永久に保障されるとされた。

問３（3点）　資料10の（ⅰ）にある「農地改革」の内容を、「地主」「小作人」という語句を使って、40字以内で説明しなさい。

問４（3点）　資料10の（ⅳ）で日本が共同宣言に調印して国交を回復した国として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　中華人民共和国

イ　大韓民国

ウ　ソビエト連邦（ソ連）

エ　イギリス

大問５　公民（12点）

次の資料を読み、あとの問いに答えなさい。

【資料11】日本国憲法に関する記述

日本国憲法は、1946年11月3日に公布され、1947年5月3日に施行された。この憲法は三つの基本原理に基づいている。第一に、主権が国民にあるという（D）の原理、第二に、すべての人が生まれながらにして持つ権利を保障する基本的人権の尊重、第三に、戦争を放棄し戦力を持たないとする平和主義である。

【資料12】日本の政治のしくみに関する記述

日本の国会は、衆議院と参議院からなる二院制を採用している。衆議院の任期は４年で解散があり、参議院の任期は６年で解散がない。予算の議決や内閣総理大臣の指名で両院の議決が異なり、両院協議会でも意見が一致しないときは、衆議院の議決が国会の議決となる。法律案は、参議院が衆議院と異なる議決をしても、衆議院が出席議員の３分の２以上の多数で再び可決すれば成立する。これを衆議院の優越という。
内閣は、内閣総理大臣とその他の国務大臣で構成され、国会に対して連帯して責任を負う。内閣が国会の信任に基づいて成立するしくみを（E）制という。

【資料13】経済に関する記述

市場経済では、商品の価格は需要と供給の関係によって決まる。ある商品の需要が供給を上回ると価格は（F）し、供給が需要を上回ると価格は（G）する。需要と供給が一致した点での価格を均衡価格という。
また、日本銀行は物価の安定を図るために金融政策を行っている。景気が過熱しているときには、一般の銀行に国債などを売却して市場の通貨量を減らす操作を行う。

【資料14】国際社会に関する記述

国際連合は1945年に設立され、本部はニューヨークにある。主要な機関として、すべての加盟国で構成される総会、5つの常任理事国と10の非常任理事国で構成される安全保障理事会などがある。安全保障理事会では、常任理事国が1か国でも反対すると決議が成立しない。この権限を（H）権という。

問１（3点）　資料11の（D）にあてはまる語句を漢字で答えなさい。

問２（3点）　資料12の（E）にあてはまる語句を答えなさい。また、衆議院の優越が認められている理由を、「民意」という語句を使って30字以内で説明しなさい。

問３（3点）　資料13の（F）・（G）にあてはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　F＝上昇　G＝下落
イ　F＝下落　G＝上昇
ウ　F＝上昇　G＝上昇
エ　F＝下落　G＝下落

問４（3点）　資料14の（H）にあてはまる語句を答えなさい。また、安全保障理事会の常任理事国を5か国すべて答えなさい。

【解答】

大問１（世界地理）	
問１	都市：**B**　／　説明：夏に高温で乾燥し、冬に温暖で降水量が多い気候。（23字）
問２	**イ**（サウジアラビア）
問３	**プランテーション**
問４	**イ**（ロシアのシベリア地方）

大問２（日本地理）	
問１	**ア**
問２	**イ**（宮崎県）
問３	**中京工業地帯**
問４	温暖な気候を利用して、出荷時期を早めて栽培する方法。（26字）

大問３（歴史・古代～近世）	
問１	**墾田永年私財法**
問２	**イ**（文永の役）
問３	**生類憐みの令**
問４	**享保の改革**

大問４（歴史・近現代）	
問１	**廃藩置県**
問２	**イ**
問３	政府が地主の農地を買い上げ、小作人に安く売り渡した改革。（28字）
問４	**ウ**（ソビエト連邦）

大問５（公民）	
問１	**国民主権**
問２	（Ｅ）＝**議院内閣**　／　説明：衆議院は解散があり、より新しい民意を反映しているため。（27字）

問３	**ア**（Ｆ＝上昇、Ｇ＝下落）
問４	（Ｈ）＝**拒否**　／　常任理事国：**アメリカ合衆国・イギリス・フランス・ロシア連邦・中華人民共和国**

【解説】

大問１　世界地理

問１　地中海性気候の判別と特徴

答え：都市Ｂ ／ 夏に高温で乾燥し、冬に温暖で降水量が多い気候。

世界の気候は大きく分けて、熱帯・乾燥帯・温帯・冷帯（亜寒帯）・寒帯の5つに分類されます。この問題では、４つの都市のデータから地中海性気候を見つけ出す必要があります。

まず、それぞれの都市の気候を整理してみましょう。

都市Ａは、1月も7月も26～27℃と高温で、年間降水量が2,490mmと非常に多いです。これは「年間を通じて高温多雨」という熱帯（熱帯雨林気候）の特徴です。東南アジアのシンガポールやインドネシアのジャカルタなどが当てはまります。

都市Ｂは、1月が9.4℃、7月が22.8℃で、年間降水量が640mmと比較的少なめです。7月の降水量が約10mmと少なく、1月は約90mmと多い、つまり「夏に乾燥し、冬に雨が多い」という特徴は、地中海性気候そのものです。地中海性気候は、夏は雨が少なく乾燥し、冬に雨が多くなります。イタリアのローマ、スペインのマドリード、アメリカのサンフランシスコなどが代表的な都市です。

都市Ｃは、1月が4.2℃、7月が18.5℃で、夏もあまり暑くならず、年間を通じて降水があります。これは温帯（西岸海洋性気候）の特徴です。イギリスのロンドンやフランスのパリなどが当てはまります。

都市Ｄは、1月が−15.3℃、7月が19.1℃と気温差が約34℃もあります。これは冷帯（亜寒帯）の特徴で、ロシアのシベリアやカナダ内陸部に見られます。

地中海性気候の特徴を記述する際のポイントは、「夏は高温で乾燥する」「冬は温暖で降水がある」という2つの対比を明確に書くことです。夏と冬で降水パターンが逆転するのが最大の特徴です。

問２　資源輸出に依存する国の判別

答え：イ（サウジアラビア）

この問題では、「原油の輸出額が総輸出額の約80%」「ペルシア湾に面する」「世界有数の産油国」「産業の多角化が課題」というキーワードから国を特定します。

サウジアラビアは、アラビア半島の大部分を占める国で、ペルシア湾（アラビア湾とも呼ばれる）に面しています。世界最大級の原油埋蔵量を持ち、OPEC（石油輸出国機構）の中心的なメンバーです。経済は原油輸出に大きく依存しており、原油価格が下がると国家収入が激減するため、近年「ビジョン2030」などの計画で観光業や製造業への多角化を進めています。

他の選択肢を見てみましょう。**ブラジル**は鉄鉱石・大豆・コーヒーなどの輸出国で、原油輸出が80%を占めることはありません。**オーストラリア**は鉄鉱石・石炭・天然ガスの輸出国ですが、ペルシア湾には面していません。**南アフリカ共和国**は金・ダイヤモンド・レアメタルの産出で知られ、原油の主要輸出国ではありません。

> 補足：特定の資源の輸出に経済の大部分を頼ることを「モノカルチャー経済」と呼びます。資源価格の変動に弱いという問題があり、多くの産油国がこの課題に直面しています。

問３　プランテーション農業

答え：プランテーション

プランテーションとは、熱帯・亜熱帯地域において、大規模な農園で単一の商品作物（輸出向けの換金作物）を栽培する農業形態のことです。

歴史的には、ヨーロッパの植民地時代に、植民地の安い労働力を使って、ヨーロッパで需要の高い作物を大量に栽培したことが起源です。16世紀以降、カリブ海地域ではサトウキビ、東南アジアでは天然ゴムやスパイス、アフリカではカカオやコーヒーが栽培されました。
現在でもこの形態は続いており、例えばマレーシアのアブラヤシ（パーム油の原料）、コートジボワールのカカオ、スリランカの茶などが代表例です。プランテーション農業は外貨を稼ぐ手段になる一方で、単一作物への依存は国際価格の変動リスクが大きく、食料用の農地が減るという問題もあります。
資料３の他の農業形態も整理しておきましょう。（あ）は企業的な農業（大型機械を使った大規模な穀物栽培）、（い）は稲作（水田を利用した米づくり）、（う）は「地中海式農業」（夏にオリーブ・ぶどう、冬に小麦を栽培）です。

問４　大陸性（冷帯）気候の地域

答え：イ（ロシアのシベリア地方）

都市Ｄの特徴は「冬と夏の気温差が非常に大きい」ことです。1月が−15.3℃で7月が19.1℃、その差は約34℃にもなります。このような気候を「大陸性気候」と呼び、海から離れた大陸の内陸部に見られます。
海は陸地に比べて温まりにくく冷めにくい性質を持っています。そのため、海に近い地域は気温の変化が穏やかになりますが、内陸部は夏に極端に暑くなり、冬に極端に寒くなります。
シベリア地方は、ロシアの東部に広がる広大な地域で、世界で最も気温の年較差が大きい地域の一つです。ヤクーツクという都市では、1月の平均気温が−40℃近く、7月は19℃程度で、年較差が60℃近くになることもあります。
他の選択肢について確認しましょう。**ジャカルタ**（赤道付近）は年中高温で気温差が小さい熱帯です。**ロンドン**は偏西風と暖流（北大西洋海流）の影響で年間の気温差が小さい西岸海洋性気候です。**カイロ**は砂漠気候で乾燥していますが、シベリアほどの極端な気温差はありません。

大問２　日本地理

問１　資料の読み取り

答え：ア

この問題は、表のデータを正確に読み取って判断する問題です。各選択肢を一つずつ検証しましょう。
ア「北海道地方は面積が最も広いが、人口密度は表中で最も低い」→ 北海道の面積は83,424km²で表中最大、人口密度は約63人/km²で表中最低です。これは正しい記述です。
イ「関東地方の人口密度は、北海道地方の約10倍である」→ 関東は約1,346人/km²、北海道は約63人/km²で、1,346÷63≒21倍です。約10倍ではないので誤りです。
ウ「中部地方は人口密度が九州地方より低い」→ 中部は約317人/km²、九州は約303人/km²なので、中部の方が高いです。これは誤りです。
エ「九州地方は人口が北海道地方の約３倍である」→ 九州は約1,278万人、北海道は約522万人で、1,278÷522≒2.4倍です。約3倍ではないので誤りです。

> 補足：資料の読み取り問題では、概数を使って素早く計算する力が求められます。「約○倍」は実際に割り算して確認しましょう。

問２　促成栽培が盛んな県の判別

答え：イ（宮崎県）

この問題のキーワードは「冬でも温暖」「ビニールハウス」「促成栽培」「きゅうり・ピーマン」「太平洋に面する」「黒潮の影響」です。
宮崎県は九州の南東部に位置し、太平洋に面しています。黒潮（日本海流）が沿岸を流れるため、冬でも比較的温暖です。この温暖な気候を利用して、ビニールハウスでの野菜の促成栽培が非常に盛んです。きゅうり・ピーマンの生

産量は全国トップクラスです。
他の選択肢を確認します。**長野県**は内陸の高原にあり、涼しい気候を利用した抑制栽培（出荷時期を遅らせる栽培）でレタスやセロリが有名です。**青森県**は冬に寒い東北地方で、りんごの生産で有名です。**新潟県**は日本海側で冬に大雪が降り、米の生産（コシヒカリ）で知られています。

> 補足：同じく促成栽培が盛んな県として、高知県もよく出題されます。高知県も太平洋に面し、なす・ピーマンなどの促成栽培が盛んです。宮崎県と高知県は「促成栽培の代表的な県」としてセットで覚えておきましょう。

問３　日本最大の工業地帯

答え：中京工業地帯

工業地帯Ｐの特徴は「機械工業の割合が約70%」「自動車関連産業が中心」「出荷額は日本最大」です。これは**中京工業地帯**の特徴です。
中京工業地帯は、愛知県・三重県を中心とする地域にあり、トヨタ自動車をはじめとする自動車産業が集中しています。豊田市はトヨタの企業城下町として知られ、周辺には部品メーカーも多数立地しています。製造品出荷額は、1990年代の終わりに京浜工業地帯を抜いて以来、日本最大です。
日本の主要な工業地帯・工業地域を整理しておきましょう。

・**中京工業地帯**（愛知・三重）：出荷額日本一、自動車産業中心
・**阪神工業地帯**（大阪・兵庫）：化学・鉄鋼・金属の割合が高い（＝資料のQ）
・**京浜工業地帯**（東京・神奈川）：印刷業の割合が高い、かつては日本最大だった
・**北九州工業地帯**（福岡県北九州市周辺）：かつて鉄鋼業で栄えたが、現在は出荷額が減少
・**北関東工業地域**：高速道路沿いの内陸部に工場が分散
・**東海工業地域**（静岡県の沿岸部）：楽器・オートバイ・製紙など

問４　促成栽培の説明

答え：温暖な気候を利用して、出荷時期を早めて栽培する方法。（26字）

促成栽培とは、本来の収穫・出荷時期よりも早く作物を育てて出荷する栽培方法です。温暖な気候の地域で、さらにビニールハウスなどの施設を使って温度を管理し、冬から春にかけて夏野菜（きゅうり、なす、ピーマン、トマトなど）を育てます。
なぜ促成栽培が行われるのか？それは、他の産地が出荷できない時期（冬～早春）に出荷することで、高い価格で売ることができるからです。需要はあるのに供給が少ない時期に出荷するため、農家の収入増につながります。
反対に、涼しい高原の気候を利用して、出荷時期を通常より遅らせる栽培方法を**抑制栽培**といいます。長野県の高原で夏にレタスやキャベツを出荷するのが代表例です。真夏は平地が暑すぎてレタスが育ちにくいため、涼しい高原で栽培することに優位性があります。

> 記述のポイント：「出荷時期を早める」という語句を必ず入れることが大切です。単に「ビニールハウスで育てる」だけでは促成栽培の本質を説明したことになりません。

大問３　歴史・古代～近世

問１　墾田永年私財法

答え：墾田永年私財法

743年に出された**墾田永年私財法（こんでんえいねんしざいほう）**は、新しく開墾した土地の永久私有を認めた法令です。
この法令の背景を理解するには、当時の土地制度を知る必要があります。
大化の改新（645年）以降、日本では**公地公民制**（すべての土地と人民は天皇・国家のもの）が原則でした。そして**班田収授法**により、6歳以上のすべての人に口分田（くぶんでん）という田が与えられ、死後は国に返す制度でし

た。農民はこの田を耕して税（租・庸・調）を納めました。
しかし、人口の増加に対して耕地が不足し始め、国家は農地を増やす必要に迫られました。そこで、まず723年に**三世一身法**（新しく開墾した土地は三世代まで私有を認める）が出されました。しかし、三世代後に土地を取り上げられるため、農民の開墾意欲は上がりませんでした。
そこで743年に墾田永年私財法が出され、「開墾した土地は永久に自分のもの」としました。これにより開墾は進みましたが、力のある貴族や寺社が大量の土地を開墾・集積し、**荘園**（私有地）が拡大しました。結果として、公地公民制は崩壊していきました。この荘園の拡大が、後の武士の台頭にもつながっていきます。

問２　元寇（文永の役）

答え：イ（文永の役）

1274年に起こったのは**文永の役（ぶんえいのえき）**で、モンゴル帝国（元）のフビライ・ハンが日本に攻めてきた事件です。元寇（げんこう）の最初の戦いです。
当時、モンゴル帝国はユーラシア大陸の大部分を支配する巨大帝国でした。フビライ・ハンは日本に使者を送り服従を求めましたが、鎌倉幕府の執権・北条時宗はこれを拒否しました。そこで元は高麗（朝鮮半島の国）の軍勢と合わせて約3万の兵で北九州に攻め込みました。
元軍は集団戦法と「てつはう」（火薬を使った武器）を使い、日本の武士たちを苦しめましたが、暴風雨（いわゆる「神風」）もあって元軍は撤退しました。1281年には2度目の攻撃である**弘安の役**が起こりましたが、こちらも暴風雨で元軍は壊滅しました。
他の選択肢を確認します。**承久の乱**（1221年）は後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして失敗した事件です。**壬申の乱**（672年）は天智天皇の死後に大海人皇子と大友皇子が争った古代の内乱です。**保元の乱**（1156年）は平安時代末期の天皇家と摂関家の内部争いで、武士が政治の表舞台に出るきっかけとなりました。

問３　生類憐みの令

答え：生類憐みの令

生類憐みの令（しょうるいあわれみのれい）は、五代将軍・徳川綱吉が出した、動物を保護することを命じた一連の法令の総称です。
綱吉は仏教に深く帰依しており、「生きとし生けるものを大切にすべき」という考えから、犬・猫・鳥・魚など広範囲の動物の殺生を禁じました。特に犬の保護が厳しく、犬を傷つけた者は厳罰に処されたため、綱吉は「犬公方（いぬくぼう）」というあだ名で呼ばれました。
江戸の中野に広大な犬の収容施設が作られ、その維持費は庶民の負担となりました。野良犬に石を投げただけで処罰されるなど、庶民の日常生活は大きく制限されました。この法令は綱吉の死後すぐに廃止されました。
ただし近年の研究では、生類憐みの令は単なる悪法ではなく、それ以前の「戦国時代の荒々しさ」が残る社会から、人命を大切にする平和な社会へと転換させる役割があったとも評価されています。捨て子の禁止や病人の保護なども含まれていたからです。

問４　享保の改革

答え：享保の改革

享保の改革（きょうほうのかいかく）は、八代将軍・徳川吉宗が行った政治改革で、江戸時代の三大改革の一つです。
吉宗が将軍になった頃、幕府の財政は深刻な赤字状態でした。武士は米で給料（俸禄）をもらっていましたが、貨幣経済の発展により出費が増える一方で、米の収入は増えませんでした。
吉宗は以下のような政策を実施しました。
・**倹約令**：武士や庶民に質素倹約を命じ、ぜいたくを禁止した
・**新田開発の奨励**：新しい農地を開墾して米の収穫量を増やそうとした

・**上げ米の制**：大名に米を献上させる代わりに、参勤交代の江戸滞在期間を短縮した
・**目安箱の設置**：庶民が将軍に直接意見を述べられる投書箱を設置した。これにより小石川養生所（貧しい人のための医療施設）が作られた
・**公事方御定書**：裁判の基準となる法律をまとめた
江戸時代の三大改革は、享保の改革（吉宗）・寛政の改革（松平定信）・天保の改革（水野忠邦）の3つです。いずれも幕府財政の立て直しと社会秩序の回復を目指しましたが、根本的な解決には至りませんでした。

大問４　歴史・近現代

問１　廃藩置県

答え：廃藩置県

廃藩置県（はいはんちけん）は、1871年に明治政府が行った政策で、全国の藩を廃止して府・県を置き、中央政府から派遣された府知事・県令に統治させるようにしたものです。
この政策の意義を理解するには、江戸時代の統治の仕組みを知る必要があります。江戸時代、日本は約300の藩に分かれており、各藩の大名がそれぞれの領地を独自に統治していました。これは現代で言えば、日本国内に300の小さな国があるようなもので、法律も税金も藩ごとに異なっていました。
明治政府は近代的な中央集権国家を作るために、まず1869年に**版籍奉還**（大名が土地と人民を天皇に返上する）を行いましたが、旧大名がそのまま知藩事（藩のトップ）として残ったため、実質的な変化は限定的でした。
そこで1871年、政府は一気に藩そのものを廃止し、代わりに府と県を設置しました。旧大名は東京に移住させられ、代わりに中央政府が任命した役人が各地を治めました。これにより、日本は初めて中央政府が全国を直接統治する体制が整いました。
廃藩置県は、薩摩・長州・土佐の軍事力を背景に強行されましたが、大きな反乱もなくスムーズに行われました。これは、多くの藩が財政的に苦しく、藩の経営から解放されることを歓迎した面もあったためです。

問２　大日本帝国憲法の特徴

答え：イ

1889年に発布された**大日本帝国憲法**は、プロイセン（ドイツ）の憲法を参考に、伊藤博文らが中心となって作成した日本初の近代的な成文憲法です。
この憲法の最大の特徴は、**天皇主権**です。第1条で「大日本帝国は万世一系の天皇が統治する」、第4条で「天皇は国の元首であり統治権を総攬する」と定められていました。つまり、国を統治するすべての権限は天皇にあるとされたのです。
各選択肢を検討しましょう。
ア「主権は国民にあり、天皇は象徴」→ これは1946年公布の**日本国憲法**の内容です。大日本帝国憲法では天皇が主権者でした。
イ「天皇が国の元首であり、統治権を総攬する」→ これが正解です。大日本帝国憲法第4条の内容そのものです。
ウ「三権分立は採用されず」→ 誤りです。大日本帝国憲法でも三権分立は採用されていました。帝国議会（立法）・内閣（行政）・裁判所（司法）が設置されていました。ただし、すべて天皇の権限の下に置かれていたという点が日本国憲法と異なります。
エ「基本的人権が永久に保障」→ これは日本国憲法の考え方です。大日本帝国憲法では「臣民の権利」として権利が認められていましたが、「法律の範囲内」という制限がつけられていました。

問３　農地改革の内容

答え：政府が地主の農地を買い上げ、小作人に安く売り渡した改革。（28字）

農地改革は、戦後のGHQ（連合国軍最高司令官総司令部）の指導のもとで行われた民主化政策の一つです。1946年から1950年にかけて実施されました。
戦前の日本の農村では、**地主制**が大きな問題でした。広い土地を持つ地主が、土地を持たない農民（小作人）に農地を貸し、高い小作料（収穫の50%以上を取ることもあった）を取っていました。小作人はいくら働いても貧しいままで、これが社会不安の原因の一つとなっていました。
農地改革では、政府が**不在地主**（自分では農業をせず、都市に住んで小作料だけを取っている地主）の農地をすべて、在村地主の農地も一定面積を超える分を強制的に買い上げ、実際に耕作している小作人に安い価格で売り渡しました。
この結果、小作地（地主から借りて耕す土地）の割合は約46%から約10%に激減し、多くの農民が自分の土地を持つ**自作農**になりました。農民の生活は改善され、農村の民主化が進みました。これは戦後改革の中で最も成功した政策の一つと評価されています。

問４　日ソ共同宣言

答え：ウ（ソビエト連邦）

1956年に日本が共同宣言に調印して国交を回復した相手国は**ソビエト連邦（ソ連）**です。これを**日ソ共同宣言**といいます。
1951年のサンフランシスコ平和条約では、西側諸国（アメリカ、イギリスなど）との講和は成立しましたが、ソ連は条約に署名しませんでした。そのため、日本とソ連の間には正式な講和条約がないまま、戦争状態が続いていました。
1956年、鳩山一郎首相がモスクワを訪問し、日ソ共同宣言に調印しました。この宣言により、日本とソ連の戦争状態は終結し、国交が回復しました。ただし、北方領土（歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島）の問題は解決せず、正式な平和条約は結ばれませんでした。共同宣言では「平和条約締結後に歯舞群島と色丹島を日本に引き渡す」とされましたが、現在に至るまで平和条約は未締結です。
この日ソ共同宣言が重要なもう一つの理由は、ソ連が日本の**国際連合加盟**に賛成したことです。それまでソ連は安全保障理事会で拒否権を行使して日本の加盟を阻止していましたが、国交回復により1956年12月に日本の国連加盟が実現しました。

大問５　公民

問１　国民主権

答え：国民主権

日本国憲法の三大基本原理は、**国民主権・基本的人権の尊重・平和主義**の3つです。
国民主権とは、国の政治のあり方を最終的に決定する力（主権）が国民にあるという原理です。日本国憲法の前文に「ここに主権が国民に存することを宣言し」と明記されており、第1条では天皇の地位は「主権の存する日本国民の総意に基く」とされています。
具体的には、国民は選挙を通じて国会議員を選び、その国会議員が法律を作り、内閣総理大臣を指名します。また、憲法改正には国民投票が必要とされています。このように、国民が直接的・間接的に政治に参加する仕組みが国民主権の具体化です。
大日本帝国憲法では天皇主権でしたが、日本国憲法では国民主権に転換されました。これは戦後の民主化の中で最も根本的な変化の一つです。天皇は「日本国の象徴であり日本国民統合の象徴」（第1条）とされ、政治的な権限を持たない存在となりました。

問２　議院内閣制と衆議院の優越

答え：（Ｅ）＝議院内閣　／　衆議院は解散があり、より新しい民意を反映しているため。

議院内閣制とは、内閣が国会（議会）の信任に基づいて成立し、国会に対して連帯して責任を負う政治制度のことです。
具体的な仕組みを説明しましょう。まず、国会が内閣総理大臣を指名します。内閣総理大臣は国務大臣を任命して内閣を組織します。内閣は国会に対して責任を負い、衆議院が内閣不信任決議を可決した場合、内閣は10日以内に「総辞職」するか「衆議院を解散」するかのどちらかを選ばなければなりません。このように、内閣と国会が密接に結びついている制度が議院内閣制です。
イギリスが議院内閣制の発祥国であり、日本もこの制度を採用しています。一方、アメリカは**大統領制**を採用しており、大統領は国民の選挙（形の上では、国民が選んだ選挙人が大統領を選ぶ間接選挙）で選ばれ、議会から独立して行政を行います。
衆議院の優越が認められている理由は、衆議院の方が「より新しい民意を反映している」と考えられるからです。衆議院は任期が4年と短く、さらに解散があるため、選挙が頻繁に行われます。一方、参議院は任期が6年で解散がないため、選挙の間隔が長くなります。より最近の選挙で選ばれた議員の方が、国民の「今の意思」を反映していると考えられるため、衆議院に優越的な権限が与えられているのです。
衆議院の優越が認められる具体的な場面は、①法律案の議決、②予算の先議と議決、③条約の承認、④内閣総理大臣の指名、⑤内閣不信任の決議（衆議院だけができる）などです。

問３　需要と供給の関係

答え：ア（Ｆ＝上昇、Ｇ＝下落）

市場経済における価格の決まり方は、**需要と供給の法則**で説明されます。
需要とは、消費者が「買いたい」と思う量のことです。**供給**とは、生産者が「売りたい」と思う量のことです。
わかりやすい例で考えてみましょう。夏に人気のかき氷を想像してください。
猛暑日に、かき氷を食べたい人が100人いるのに、お店が作れるかき氷が50個しかないとします。これは**需要（100）＞供給（50）**の状態です。買いたい人が多いので、お店は「高くしても売れる」と考え、値段を上げます。つまり、需要が供給を上回ると、価格は**上昇**します。
逆に、寒い冬の日に、かき氷を食べたい人が10人しかいないのに、お店が50個作ってしまったとします。これは**供給（50）＞需要（10）**の状態です。売れ残りが出るので、お店は「安くしてでも売りたい」と考え、値段を下げます。つまり、供給が需要を上回ると、価格は**下落**します。
そして、需要と供給がちょうど一致する点での価格を**均衡価格**といいます。市場経済では、価格が自動的に調整されて均衡価格に近づいていく傾向があります。これをアダム・スミスは「見えざる手」と呼びました。

> 補足：日本銀行が行う「国債の売却」は**売りオペレーション（売りオペ）**と呼ばれます。日本銀行が銀行に国債を売ると、銀行はお金を払って国債を買うため、市場のお金の量が減ります。お金が減ると金利が上がり、企業や個人がお金を借りにくくなるため、景気を冷ます効果があります。

問４　拒否権と安全保障理事会常任理事国

答え：（Ｈ）＝拒否　／　常任理事国：アメリカ合衆国・イギリス・フランス・ロシア連邦・中華人民共和国

国際連合（国連）は、1945年に第二次世界大戦の反省から設立された国際機関で、国際平和と安全の維持を主な目的としています。本部はアメリカのニューヨークにあります。
安全保障理事会（安保理）は、国際平和と安全の維持について最も重要な責任を持つ機関です。5つの常任理事国と、総会で選ばれる10の非常任理事国（任期2年）で構成されています。
5つの常任理事国は、**アメリカ合衆国・イギリス・フランス・ロシア連邦（1991年まではソ連）・中華人民共和国（1971年までは中華民国）**です。これらの国は**拒否権**を持っており、常任理事国が1か国でも反対票を投じると、その決議は成立しません。
拒否権は、大国間の協調なしに重要な決定を行うことを防ぐ目的で設けられましたが、冷戦期にはアメリカとソ連が互いに拒否権を行使し合い、安保理が機能しないことがたびたびありました。現在でも、シリア問題やウクライナ問

題などで拒否権が行使され、安保理が有効な対応を取れないことが問題視されています。
日本は、常任理事国入りを目指して活動していますが、実現していません。安保理改革は国連の大きな課題の一つです。

> 覚え方のコツ：常任理事国は「アメリカ・イギリス・フランス・ロシア・中国」＝「ア・イ・フ・ロ・中」と頭文字で覚えましょう。